

一般社団法人日本医療薬学会
2021年度第1回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2021年3月2日（火） 13時30分～16時10分

二．開催場所： インターネットを介したウェブ会議（Zoomを利用）

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 山田 安彦、山本 康次郎

理 事： 石井 伊都子、石澤 啓介、出石 啓治、大谷 壽一、河原 昌美、
吉光寺 敏泰、崔 吉道、齋藤 秀之、齋藤 嘉朗、鹿村 恵明、
田崎 嘉一、寺田 智祐、富岡 佳久、村木 優一、百瀬 泰行、
矢野 育子

監 事： 大森 栄、佐々木 均、望月 眞弓

陪席者

年会長： 山田 清文

顧 問： 木平 健治、安原 眞人、和田 一夫

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、田中 結寿

欠席者

副会頭： 武田 泰生

顧 問： 五十嵐 邦彦、山本 信夫

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 19名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1．2020年度第4回定例理事会議事録の確認

議長より、2020年12月24日に開催された2020年度第4回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

2．協議事項

(1) 2020年度事業報告案

石澤理事より、本年3月20日に開催する第13回定時社員総会資料（案）（以下、本総会）を基に、2020年度事業報告（案）の概要が説明された。コロナ禍という特別な状況下において、総会、理事会、委員会、年会、研修会の開催や認定制度等の活動に大きな影響を受けたことなどが報告された。協議した結果、本案は了承され本総

会資料に組み入れることとなった。

(2) 2020年度決算報告(案)

崔理事より、本総会資料及び別冊(補足資料)を基に、2020年度決算報告(案)が説明された。コロナ禍において、本学会の事業活動への影響により、当初見込んでいた予算に対して大きなずれが生じた決算となったことが説明された。協議した結果、本案は了承され、本総会資料及び別冊に組み入れることとなった。

(3) 2020年度監査報告

佐々木監事より、本年2月18日に実施した監事監査に基づく2020年度の監査報告があった。事業については、特段の指摘事項がない旨の報告があった。

(4) 2020年度医療薬学専門薬剤師認定制度における認定審査結果

百瀬理事より、諸事情により申請手続きが遅れた2020年度医療薬学専門薬剤師・同指導薬剤師・同研修施設の更新申請に各々追加申請があり、医療薬学専門薬剤師認定委員会がメールによって審議を行った結果、医療薬学専門薬剤師2名、医療薬学指導薬剤師2名、医療薬学専門薬剤師研修施設1施設の更新が認められると判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。

(5) がん専門薬剤師制度に係る協議事項

1) がん専門薬剤師認定制度規程の改正

河原理事より、がん専門薬剤師抗がん薬プロフィール小委員会の活動終了に伴い、がん専門薬剤師認定制度規程より同小委員会名を削除する旨の改正が成されたことが説明された。協議した結果、当該制度規程の改正は了承された。

2) がん専門薬剤師研修ガイドラインの改訂

河原理事より、がん専門薬剤師研修小委員会によって改訂作業が行われたがん専門薬剤師研修ガイドラインの改訂案を基に、がん治療の目覚ましい進歩に即した内容にブラッシュアップを図ったという主旨説明があった。協議した結果、当該研修ガイドラインの改訂は了承された。

3) がん専門薬剤師研修小委員会委員の交代

河原理事より、がん専門薬剤師研修小委員会委員である渡邊裕之先生(九州大学病院)から秦晃二郎先生(九州大学病院)への交代を図る旨の説明があった。協議した結果、本委員の交代は了承された。

(6) 情報システム検討WGの編成

石澤理事より、2020年度第4回定例理事会で立ち上げが承認された情報システムWGについての編成案が説明された。また、本WGでは、現状の把握と課題の抽出を進め、優先順位を付けて課題に取り組むこと、及び公開シンポジウム実行委員長や各研修委員会の委員長からの意見の収集や情報提供を行うことなどが確認された。協議した結果、当該編成案は了承された。

(7) 第32回年会に係るハイブリッド開催の実施及び開催地の変更

山本年会長より、第32回年会（開催地：横浜市）について、現地とオンライン開催との併用によるハイブリッド開催の実施と、開催地を高崎市に変更する提議及び経緯の説明があった。ハイブリッド開催の実施への変更理由として、従来の集合研修型に加え、コロナ禍における感染対策と共に、多くの人々に参加機会を提供できる有益性があることなどが説明された。それに伴い、ハイブリッド開催時の収支計画を検討した結果、会場となるパシフィコ横浜の会場利用経費が高額のため、オンライン開催分の経費の支出が困難であることが判明した。更なる検討を進めた結果、主会場を高崎市にあるGメッセ群馬に変更できればハイブリッド開催が可能であることが確認できたこと、続いてGメッセ群馬の規模・収容者数、交通アクセス・宿泊等に係る説明があった。協議した結果、本年会のハイブリッド開催及び高崎市への開催地の変更が了承された。なお、パシフィコ横浜のキャンセル料については、事務局が同年会の前払金として処理することになった。

(8) 第13回定時社員総会開催予定・資料の確認

事務局より3月20日（土・祝）開催予定の第13回定時社員総会開催について、代議員には、委任状や議決権行使書の提出を求めること、会頭、議事録署名人、監事1名以上の出席が必要であることの説明があった。また、資料については例年通り二分冊となることが説明され、本件は了承された。なお、総会資料は代議員にメールにて送付される。

(9) 会費の遡及納入に係る嘆願への対応

田崎理事より、会費の遡及納入に係る5件の嘆願について説明があった。4件については前年度の会費についての嘆願であったため問題なく了承されたが、1件については体調不良による入院等を理由とする前年度及び前々年度の2年分についての嘆願であり、会員細則上は前年度分のみに関し遡及納入を認めるとの記載があるため、議論が成された。過去にも病気や留学を理由として2年分の遡及納入を認めた事例があり、会員委員会で遡及納入を認める条件について整理し細則の見直しを行うことを条件に本嘆願は了承された。

3. 報告事項

(1) メール審議による理事会審議の結果報告

事務局より、前回理事会以降にメール審議された案件の概要と審議結果が報告された。

- ・2020年度がん専門薬剤師制度 新規申請・更新申請に係る認定審議の結果
 - ・各専門薬剤師制度の連携研修契約書及び研修料の支払いに係る覚書
- 本件の審議については、了承されたことが報告された。

(2) 第30回年会実施報告

第30回年会の山田（清）年会長より、第30回年会実施報告があった。また、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修シール発行枚数訂正と視聴についての不正操作者への対応についての報告があった。

(3) 第31回年会（熊本）準備状況報告

齋藤年会長より、本年10月に開催される第31回年会について、YIA（Young Investigator's Award）セッション（口頭発表）を開催することなどの準備状況が報告された。過去の年会あり方検討委員会で決定した、参加費の設定及び組織委員会に総務担当理事・財務担当理事に入っていただく必要があることの申し送りが出来ていないことが判明し、総務担当理事・財務担当理事に参加していただいたうえで、コンベンション会社と参加費について検討することになった。

(4) 第77回公開シンポジウム実施報告

富岡理事より、本年1月24日（日）に岐阜薬科大学で開催された第77回公開シンポジウムの実施概要が報告された。

(5) 2020年度各専門薬剤師制度における再審査

1) 河原理事より、前回理事会において、2020年度がん専門薬剤師の更新申請者のうち14名については、がん患者に対する薬学的介入の症例サマリ（50症例）の再提出を求め、提出されたものを再審査することを説明し了承されていること、今回、当該14名より提出された50症例を再審査した結果全14名を合格とし更新を認めたことが報告された。

2) 石井理事より、前回理事会において、2020年度薬物療法指導薬剤師の新規申請者のうち5名については、薬剤管理指導の実績の要約（50症例）の再提出を求め、提出されたものを再審査することを説明し了承されていること、今回、当該5名より提出された50症例を再審査した結果4名を合格として認定し、1名を不合格としたことが報告された。

3) 続いて、石井理事より、前回理事会において、2020年度薬物療法専門薬剤師の更新申請者のうち2名については、自ら実施した5年間の薬剤管理指導の実績（20症例）の要約の再提出を求め、提出されたものを再審査することを説明し了承されていること、今回、当該2名より提出された20症例を再審査した結果全2名を合格とし更新を認めたことが報告された。

(6) 2020年度がん専門薬剤師集中教育講座開催報告

河原理事より、2020年度がん専門薬剤師集中教育講座の開催状況について、初めてのWeb開催（オンデマンド配信）であったが、特に問題なく開催することができたことが報告された。

(7) 後援依頼への対応

議長より、「第5回日本老年薬学会学術大会」の後援申請を承諾したことが報告

された。

(8) 委員会報告

河原理事より、がん専門薬剤師能力向上小委員会の委員会報告として、第8回がん専門薬剤師全体会議をハイブリッド開催とし準備を進めている旨が報告された。

(9) 厚労科研シンポジウム

安原監事より、本年2月28日（日）に開催された令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）・シンポジウム「かかりつけ薬剤師・薬局の多機関・多職種との連携に関する調査研究」に係るWeb開催の概要が報告された。

(10) その他

大谷理事より、参考資料「JPHCS_Jan2021_Publishers Report」についてJPHCS誌の投稿数・採択率についての資料である旨が説明された。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は16時10分に閉会を宣言し、解散した。